

矢口 芳生教授の模擬授業

食料・ 農業問 題

世界と日本の食料・農業問題を考える

講師: 矢口 芳生

世界では食料が不足しているが、日本ではスーパーに行けば何でもある。世界は食料の不足だけでなく流通・分配がうまく行かずに栄養不足人口が8億人に達する。日本では食料は何でもあるが、大半は輸入だ。農村では鳥獣が闊歩し、農家の人々は檻のなかだ。耕作放棄地が増大し、担い手は高齢化している。日本の食料と農業は大丈夫なのであろうか。世界と日本の食料と農業を考える。

■ 受講人数の目安: 30人以上

■ 所要時間の目安: 1時間程度

■ 高校でご準備いただきたいもの: パワーポイントを使用するので、これに必要なもの。

食料・ 農業問 題

日本の食料・農業問題を考える

講師: 矢口 芳生

日本のカロリーベースの食料自給率は4%そこそこだ。耕作放棄地は増大し、担い手は高齢化している。これらの状況を明らかにし、今後の日本の農業と農村のあり方を考える。そして、地域で何が必要なのか、どうすればいいのか、農業に関係しない人々も何をどうすればいいのかについて考える。

■ 受講人数の目安: 30人以上

■ 所要時間の目安: 1時間程度

■ 高校でご準備いただきたいもの: パワーポイントを使用するので、これに必要なもの。